

# オーストラリア・ 高配当株ファンド (毎月決算型) 【運用報告書(全体版)】

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2012年6月15日から2026年12月7日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 オーストラリア高配当株式マザーファンド オーストラリアの取引所に上場している高配当株式等
当ファンドの運用方法	■マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■銘柄選定にあたっては、企業収益の成長性や財務健全性に加え、配当余力や配当政策等を勘案して厳選します。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	当ファンド ■株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 オーストラリア高配当株式マザーファンド ■株式への投資割合には、制限を設けません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月5日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

第20作成期 (2021年12月7日から2022年6月6日まで)

第 115 期 / 第 116 期 / 第 117 期  
決算日2022年1月5日 決算日2022年2月7日 決算日2022年3月7日

第 118 期 / 第 119 期 / 第 120 期  
決算日2022年4月5日 決算日2022年5月6日 決算日2022年6月6日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976

受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

### ■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			株 式 組 入 率	投 証 比	資 信 託 入 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配 込 金	期 騰 落 中 率				
	円	円	%	%	%	百万円	
91期 (2020年1月6日)	6,740	50	2.8	51.1	47.6	4,015	
92期 (2020年2月5日)	6,637	50	△ 0.8	52.5	44.7	3,838	
93期 (2020年3月5日)	5,970	50	△ 9.3	51.0	45.1	3,397	
94期 (2020年4月6日)	4,146	50	△ 29.7	54.5	40.6	2,355	
95期 (2020年5月7日)	4,469	50	9.0	55.4	40.3	2,540	
96期 (2020年6月5日)	5,574	50	25.8	53.8	43.5	3,187	
97期 (2020年7月6日)	5,441	50	△ 1.5	49.5	47.7	3,124	
98期 (2020年8月5日)	5,472	50	1.5	50.1	47.6	3,120	
99期 (2020年9月7日)	5,545	50	2.2	47.9	49.3	3,122	
100期 (2020年10月5日)	5,243	50	△ 4.5	46.9	50.5	2,908	
101期 (2020年11月5日)	5,307	30	1.8	51.3	47.1	2,877	
102期 (2020年12月7日)	6,028	30	14.2	58.3	39.9	3,018	
103期 (2021年1月5日)	6,220	30	3.7	52.7	40.9	2,871	
104期 (2021年2月5日)	6,226	30	0.6	56.4	41.6	2,692	
105期 (2021年3月5日)	6,550	30	5.7	60.7	34.6	2,719	
106期 (2021年4月5日)	6,706	30	2.8	62.1	35.2	2,665	
107期 (2021年5月6日)	6,906	30	3.4	62.9	34.2	2,662	
108期 (2021年6月7日)	7,045	30	2.4	64.2	33.6	2,630	
109期 (2021年7月5日)	6,920	30	△ 1.3	64.1	34.2	2,531	
110期 (2021年8月5日)	6,809	30	△ 1.2	64.6	33.2	2,410	
111期 (2021年9月6日)	7,044	30	3.9	65.6	29.7	2,435	
112期 (2021年10月5日)	6,972	30	△ 0.6	69.5	26.4	2,358	
113期 (2021年11月5日)	7,151	30	3.0	67.2	28.2	2,333	
114期 (2021年12月6日)	6,607	30	△ 7.2	66.2	28.8	2,128	
115期 (2022年1月5日)	7,360	30	11.9	66.0	29.4	2,341	
116期 (2022年2月7日)	6,957	30	△ 5.1	67.3	28.0	2,187	
117期 (2022年3月7日)	7,341	30	6.0	67.9	27.2	2,291	
118期 (2022年4月5日)	8,347	30	14.1	67.3	28.2	2,557	
119期 (2022年5月6日)	8,267	30	△ 0.6	68.3	29.5	2,441	
120期 (2022年6月6日)	8,214	30	△ 0.3	67.6	28.9	2,458	

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準	価額		株式組入率	投資信託証券比率
			騰	落率		
第115期	(期首) 2021年12月6日	円		%	%	%
	12月末	6,607	—		66.2	28.8
		7,266	10.0		65.5	29.7
第116期	(期末) 2022年1月5日	7,390	11.9		66.0	29.4
	(期首) 2022年1月5日	7,360	—		66.0	29.4
	1月末	6,778	△ 7.9		67.5	27.4
第117期	(期末) 2022年2月7日	6,987	△ 5.1		67.3	28.0
	(期首) 2022年2月7日	6,957	—		67.3	28.0
	2月末	7,088	1.9		65.8	27.1
第118期	(期末) 2022年3月7日	7,371	6.0		67.9	27.2
	(期首) 2022年3月7日	7,341	—		67.9	27.2
	3月末	8,353	13.8		66.9	27.7
第119期	(期末) 2022年4月5日	8,377	14.1		67.3	28.2
	(期首) 2022年4月5日	8,347	—		67.3	28.2
	4月末	8,115	△ 2.8		66.6	29.8
第120期	(期末) 2022年5月6日	8,297	△ 0.6		68.3	29.5
	(期首) 2022年5月6日	8,267	—		68.3	29.5
	5月末	8,110	△ 1.9		67.4	28.6
	(期末) 2022年6月6日	8,244	△ 0.3		67.6	28.9

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

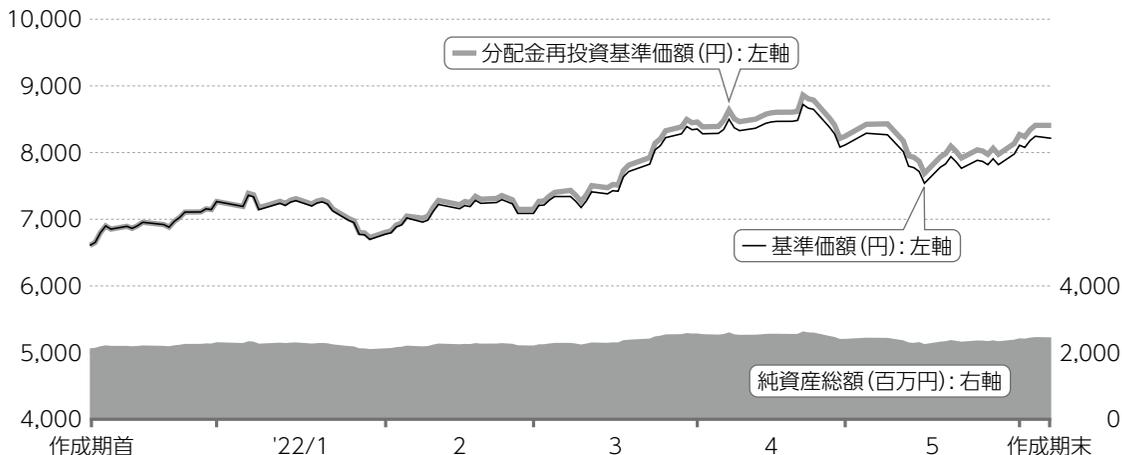
※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	6,607円
作成期末	8,214円 (当作成期既払分配金180円(税引前))
騰落率	+27.3% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 基準価額の主な変動要因(2021年12月7日から2022年6月6日まで)

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

#### 上昇要因

- ロシアのウクライナ侵攻などによる資源価格の上昇により、エネルギーや鉱山などの株価が上昇したこと
- オーストラリアドルが円に対して上昇したこと

#### 下落要因

- 2022年1月や5月において、オーストラリアや米国による利上げ観測の高まりで金利が上昇し、株式市場が下落したこと

投資環境について（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

オーストラリア市場は全体では期間においてほぼ変わらずとなりました。為替市場では、オーストラリアドル高・円安となりました。

## 株式市場

オーストラリア株式市場は、期間においてほぼ変わらずとなりました。

米国の金融政策が引き締めへと転換したこと、中国のコロナウイルスの感染再拡大などによる景気減速、欧州ではロシアのウクライナ侵攻による地政学リスクの高まりや資源価格の上昇など、世界の株式市場を取り巻く環境は厳しいものとなり、米欧や中国の株式市場は下落しました。

こうした厳しい市場環境の中、オーストラリアの国内景気は経済活動の再開に伴う回復基調を維持しました。また、失業率の低下と消費者物価の上昇により、米国同様に金利上昇圧力が高まりました。RBA（オーストラリア準備銀行）は5月に0.25%の利上げを実施しました。その後には総選挙が行われ、中道・左派の野党労働党が勝利し、アルバニー新首相による政権交代が実現しました。原油市況は需給環境が引き締まった状況が続いていましたが、ロシアのウクライナ侵攻を機に急騰した原油価格（ブレント）は期初1バレルあたり70ドルから期末には120ドル近辺まで上昇しまし

た。

オーストラリア株式市場は、景気回復を好感する局面と金利上昇に対する警戒感などから世界の株式市場とともに下落する局面など、短期間に材料が交錯して方向感の出にくい展開となりました。全体ではほぼ変わらずとなりましたが、ウクライナ情勢を受けて、エネルギーや鉱山関連銘柄の株価が大きく上昇する一方で、金利上昇を嫌気して消費や不動産などの銘柄が下落する二極化した展開となりました。

## 為替市場

オーストラリアドルは、円に対して上昇しました。

米ドル・円は、米国の金融政策の変更観測に続くFRB（米連邦準備制度理事会）の利上げの実施で米国の金利上昇とともに米ドル高・円安が進みました。

オーストラリアも景気回復とともに失業率の低下や消費者物価の上昇により金利が上昇し、オーストラリアドルも米ドル・円の動きに沿って、期を通じて対円で上昇しました。

ポートフォリオについて（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

## 当ファンド

「オーストラリア高配当株式マザーファンド」を通じた運用を行いました。期を通して「オーストラリア高配当株式マザーファンド」の組入れを高位に保ちました。

株価の上昇により上値余地が縮小した鉱山のBHPグループを売却しました。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### ●株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、期を通じて高位を維持しました。

### ●業種配分

株価の上昇によりエネルギーのウエイトが上昇しました。一方で、銀行のウエイトを引き下げました。

### ●個別銘柄

個別銘柄では、経済活動に伴う国内消費需要拡大の恩恵が期待できることから、主に食品やハードウェア製品の流通およびマーケティングを手掛けるメトキャッシュを購入しました。

一方で、金利上昇に伴う住宅市場および住宅ローン市場の減速見通しから、ウエストパック銀行やオーストラリア・コモンウェルス銀行などの銀行銘柄を売却しました。

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### ベンチマークとの差異について（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

### 分配金について（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

期間の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	(0.41%)	(0.43%)	(0.41%)	(0.36%)	(0.36%)	(0.36%)
当期の収益	30	—	30	30	—	30
当期の収益以外	—	30	—	—	30	—
翌期繰越分配対象額	1,002	972	1,055	1,986	1,957	1,965

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「オーストラリア高配当株式マザーファンド」を通じた運用を継続します。「オーストラリア高配当株式マザーファンド」の組入比率は高位に保つ予定です。

### オーストラリア高配当株式マザーファンド

米国のインフレと金利の見通し、ロシアによるウクライナ侵攻の余波、中国経済の下振れ懸念などを背景に、株式市場は引き続き値動きの荒い展開が続くと予想します。もっとも、中国経済については、政府の景

気対策強化を考えると、今後は徐々に持ち直す可能性が高いとみています。また、新型コロナウイルスの感染が鎮静化し、オーストラリア国内経済、主要な内需関連企業の業績は拡大基調を維持する見通しです。株式市場も企業業績の成長に沿った上昇を見込みます。

オーストラリア株式市場は堅調な見通しであることから、株式の組入比率は高位を維持します。個別銘柄選択については、安定した事業からのキャッシュフローを見極めるとともに、増配や自社株買いなどの株主還元に注力する銘柄を選別します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### 1万口当たりの費用明細（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

項 目	金額	比率	項目の概要
<b>(a) 信 託 報 酬</b>	<b>60円</b>	<b>0.794%</b>	<b>信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数)</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">期中の平均基準価額は7,571円です。</span>
（投 信 会 社）	(29)	(0.383)	投信会社:ファンド運用の指図等の対価
（販 売 会 社）	(29)	(0.383)	販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.027)	受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
<b>(b) 売買委託手数料</b>	<b>6</b>	<b>0.082</b>	<b>売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数</b>
（株 式）	(5)	(0.065)	売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(1)	(0.017)	
<b>(c) 有価証券取引税</b>	<b>－</b>	<b>－</b>	<b>有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数</b>
（株 式）	(－)	(－)	有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公 社 債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
<b>(d) そ の 他 費 用</b>	<b>2</b>	<b>0.027</b>	<b>その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数</b>
（保 管 費 用）	(2)	(0.025)	保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	そ の 他:信託事務の処理等に要するその他費用
<b>合 計</b>	<b>68</b>	<b>0.904</b>	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

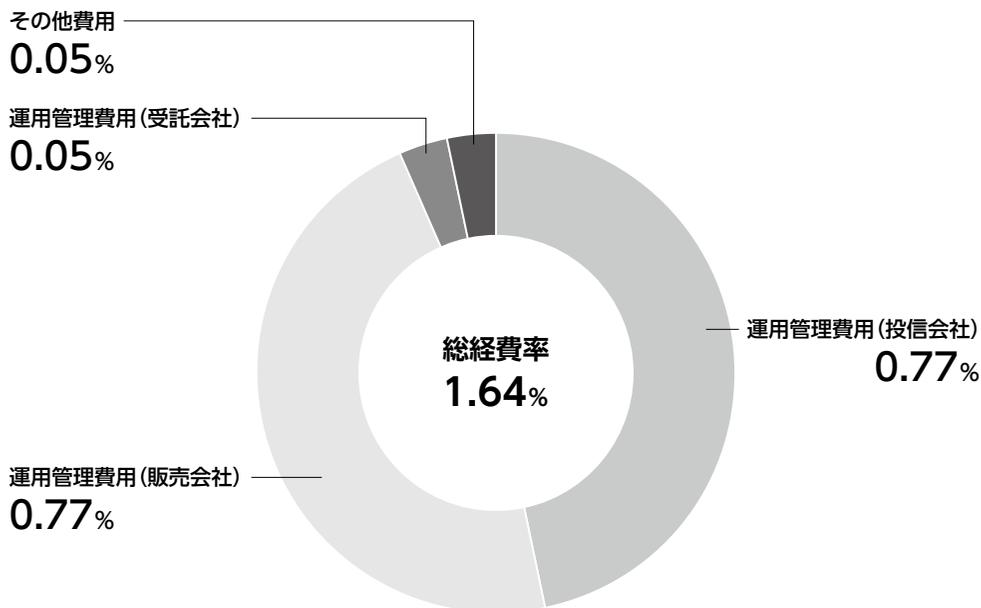
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



## 参考情報 総経費率（年率換算）



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.64%です。

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### ■ 当作成期中の売買及び取引の状況（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	当 作 成 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 22,927	千円 75,069	千口 102,079	千円 327,949

### ■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

項 目	当 作 成 期
	オーストラリア高配当株式マザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	706,638千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	1,743,809千円
(c) 売 買 高 比 率(a)/(b)	0.40

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末（ただし、決算日の属する月については決算日）の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

### ■ 利害関係人との取引状況等（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細（2022年6月6日現在）

親投資信託残高

種 類	作 成 期 首	作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千口 787,728	千口 708,575	千円 2,470,024

※オーストラリア高配当株式マザーファンドの作成期末の受益権総口数は729,595,413口です。

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### ■ 投資信託財産の構成

(2022年6月6日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
オーストラリア高配当株式マザーファンド	千円 2,470,024	% 99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	3,272	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	2,473,297	100.0

※オーストラリア高配当株式マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建資産（2,485,701千円）の投資信託財産総額（2,544,466千円）に対する比率は97.7%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=94.26円です。

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年1月5日) (2022年2月7日) (2022年3月7日) (2022年4月5日) (2022年5月6日) (2022年6月6日)

項 目	第 115 期 末	第 116 期 末	第 117 期 末	第 118 期 末	第 119 期 末	第 120 期 末
<b>(A) 資 産</b>	<b>2,358,314,543円</b>	<b>2,201,798,169円</b>	<b>2,304,252,636円</b>	<b>2,585,956,333円</b>	<b>2,470,671,282円</b>	<b>2,473,297,224円</b>
コール・ローン等	4,828,903	378,759	1,026,875	354,529	897,196	2,123,017
オーストラリア高配当株式マザーファンド(評価額)	2,353,287,702	2,200,341,197	2,303,225,761	2,569,683,827	2,453,708,242	2,470,024,614
未 収 入 金	197,938	1,078,213	-	15,917,977	16,065,844	1,149,593
<b>(B) 負 債</b>	<b>17,217,000</b>	<b>13,829,146</b>	<b>12,871,525</b>	<b>28,259,951</b>	<b>28,962,841</b>	<b>15,173,837</b>
未払収益分配金	9,542,772	9,435,530	9,364,287	9,193,014	8,860,656	8,977,466
未 払 解 約 金	4,733,776	1,163,941	733,856	15,979,498	16,670,088	2,979,704
未 払 信 託 報 酬	2,928,327	3,216,365	2,761,961	3,074,715	3,417,937	3,203,406
その他未払費用	12,125	13,310	11,421	12,724	14,160	13,261
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>2,341,097,543</b>	<b>2,187,969,023</b>	<b>2,291,381,111</b>	<b>2,557,696,382</b>	<b>2,441,708,441</b>	<b>2,458,123,387</b>
元 本	3,180,924,107	3,145,176,960	3,121,429,161	3,064,338,204	2,953,552,050	2,992,488,731
次期繰越損益金	△ 839,826,564	△ 957,207,937	△ 830,048,050	△ 506,641,822	△ 511,843,609	△ 534,365,344
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>3,180,924,107口</b>	<b>3,145,176,960口</b>	<b>3,121,429,161口</b>	<b>3,064,338,204口</b>	<b>2,953,552,050口</b>	<b>2,992,488,731口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	7,360円	6,957円	7,341円	8,347円	8,267円	8,214円

※当作成期における作成期首元本額3,222,062,281円、作成期中追加設定元本額179,270,846円、作成期中一部解約元本額408,844,396円です。  
 ※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## オーストラリア・高配当株ファンド（毎月決算型）

### ■ 損益の状況

〔自2021年12月7日〕〔自2022年1月6日〕〔自2022年2月8日〕〔自2022年3月8日〕〔自2022年4月6日〕〔自2022年5月7日〕  
〔至2022年1月5日〕〔至2022年2月7日〕〔至2022年3月7日〕〔至2022年4月5日〕〔至2022年5月6日〕〔至2022年6月6日〕

項 目	第 115 期	第 116 期	第 117 期	第 118 期	第 119 期	第 120 期
	41円	19円	3円	10円	45円	25円
(A) 配 当 等 収 益	△	△	△	△	△	△
受 取 利 息	-	9	-	-	-	1
支 払 利 息	△ 41	△ 28	△ 3	△ 10	△ 45	△ 26
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	251,100,863	△ 113,960,833	131,845,482	319,048,782	△ 11,963,159	△ 255,653
売 買 益	252,796,054	673,088	132,493,893	323,669,320	2,557,431	1,621,604
売 買 損	△ 1,695,191	△ 114,633,921	△ 648,411	△ 4,620,538	△ 14,520,590	△ 1,877,257
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,940,449	△ 3,229,673	△ 2,773,382	△ 3,087,439	△ 3,432,097	△ 3,216,660
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	248,160,373	△ 117,190,525	129,072,097	315,961,333	△ 15,395,301	△ 3,472,338
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 94,914,542	141,657,123	14,921,251	131,290,131	417,617,894	388,297,309
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 983,529,623	△ 972,239,005	△ 964,677,111	△ 944,700,272	△ 905,205,546	△ 910,212,849
(配 当 等 相 当 額)	( 175,021,388)	( 173,600,496)	( 172,678,973)	( 170,731,744)	( 169,522,241)	( 182,508,008)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,158,551,011)	(△1,145,839,501)	(△1,137,356,084)	(△1,115,432,016)	(△1,074,727,787)	(△1,092,720,857)
(G) 合 計 (D + E + F)	△ 830,283,792	△ 947,772,407	△ 820,683,763	△ 497,448,808	△ 502,982,953	△ 525,387,878
(H) 収 益 分 配 金	△ 9,542,772	△ 9,435,530	△ 9,364,287	△ 9,193,014	△ 8,860,656	△ 8,977,466
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 839,826,564	△ 957,207,937	△ 830,048,050	△ 506,641,822	△ 511,843,609	△ 534,365,344
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 983,529,623	△ 972,239,005	△ 964,677,111	△ 944,700,272	△ 905,205,546	△ 910,212,849
(配 当 等 相 当 額)	( 175,033,747)	( 173,601,219)	( 172,750,534)	( 170,766,876)	( 169,525,368)	( 182,856,586)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,158,563,370)	(△1,145,840,224)	(△1,137,427,645)	(△1,115,467,148)	(△1,074,730,914)	(△1,093,069,435)
分 配 準 備 積 立 金	143,703,059	132,221,593	156,727,152	438,058,450	408,757,238	405,316,323
繰 越 損 益 金	-	△ 117,190,525	△ 22,098,091	-	△ 15,395,301	△ 29,468,818

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第 115 期	第 116 期	第 117 期	第 118 期	第 119 期	第 120 期
(a) 経費控除後の配当等収益	5,861,660円	0円	35,208,837円	10,085,510円	0円	10,802,974円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	69,641,608	0	0	284,342,714	0	0
(c) 収益調整金	175,033,747	173,601,219	172,750,534	170,766,876	169,525,368	182,856,586
(d) 分配準備積立金	77,742,563	141,657,123	130,882,602	152,823,240	417,617,894	403,490,815
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	328,279,578	315,258,342	338,841,973	618,018,340	587,143,262	597,150,375
1万口当たり当期分配対象額	1,032.03	1,002.35	1,085.53	2,016.81	1,987.92	1,995.50
(f) 分配金	9,542,772	9,435,530	9,364,287	9,193,014	8,860,656	8,977,466
1万口当たり分配金	30	30	30	30	30	30

### ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	第115期	第116期	第117期	第118期	第119期	第120期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# オーストラリア高配当株式マザーファンド

第20期（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

信託期間	無期限（設定日：2012年6月15日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。</li> <li>外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ■ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	率			
	円		%	%	%	百万円
16期（2020年6月5日）	20,266	△10.1		53.3	43.0	4,415
17期（2020年12月7日）	23,159	14.3		57.9	39.6	4,342
18期（2021年6月7日）	28,021	21.0		63.8	33.4	3,244
19期（2021年12月6日）	27,184	△3.0		65.8	28.6	2,735
20期（2022年6月6日）	34,859	28.2		67.3	28.8	2,543

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 式 組 入 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%	%	%
2021年12月6日	27,184	—		65.8	28.6
12月末	29,925	10.1		65.5	29.6
2022年1月末	28,067	3.2		67.4	27.3
2月末	29,514	8.6		65.7	27.0
3月末	34,966	28.6		66.9	27.7
4月末	34,132	25.6		66.5	29.8
5月末	34,281	26.1		67.4	28.6
(期 末)					
2022年6月6日	34,859	28.2		67.3	28.8

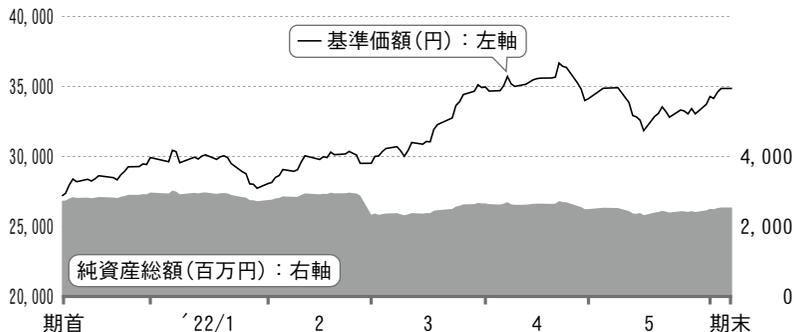
※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

#### 基準価額等の推移



期首	27,184円
期末	34,859円
騰落率	+28.2%

### ▶ 基準価額の主な変動要因（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

当ファンドは、主としてオーストラリアの取引所に上場している高配当株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

#### 上昇要因

- ・ロシアのウクライナ侵攻などによる資源価格の上昇により、エネルギーや鉱山などの株価が上昇したこと
- ・オーストラリアドルが円に対して上昇したこと

#### 下落要因

- ・2022年1月や5月において、オーストラリアや米国による利上げ観測の高まりで金利が上昇し、株式市場が下落したこと

### ▶ 投資環境について（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

オーストラリア市場は全体では期間においてほぼ変わらずとなりました。為替市場では、オーストラリアドル高・円安となりました。

#### 株式市場

オーストラリア株式市場は、期間においてほぼ変わらずとなりました。米国の金融政策が引き締めへと転換したこと、中国のコロナウイルスの感染再拡大などによる

景気減速、欧州ではロシアのウクライナ侵攻による地政学リスクの高まりや資源価格の上昇など、世界の株式市場を取り巻く環境は厳しいものとなり、米欧や中国の株式市場は下落しました。

こうした厳しい市場環境の中、オーストラリアの国内景気は経済活動の再開に伴う回復基調を維持しました。また、失業率の低下と消費者物価の上昇により、米国同様に金利上昇圧力が高まりました。RBA（オーストラリア準備銀行）は5月に0.25%の利上げを実施しました。その後には総選挙が行われ、中道・左派の野党労働党が勝利し、アルバニー新首相による政権交代が実現しました。原油市況は需給環境が引き締まった状況が続いていましたが、ロシアのウクライナ侵攻を機に急騰した原油価格（ブレント）は期初1バレルあたり70ドルから期末には120ドル近辺まで上昇しました。

オーストラリア株式市場は、景気回復を好感する局面と金利上昇に対する警戒感などから世界の株式市場とともに下落する局面など、短期間に材料が交錯して方向感の出にくい展開となりました。全体ではほぼ変わらずとなりましたが、ウクライナ情勢を受けて、エネルギーや鉱山関連銘柄の株価が大きく上昇する一方で、金利上昇を嫌気して消費や不動産などの銘柄が下落する二極化した展開となりました。

### 為替市場

オーストラリアドルは、円に対して上昇しました。

米ドル・円は、米国の金融政策の変更観測に続くFRB（米連邦準備制度理事会）の利上げの実施で米国の金利上昇とともに米ドル高・円安が進みました。

オーストラリアも景気回復とともに失業率の低下や消費者物価の上昇により金利が上昇し、オーストラリアドルも米ドル・円の動きに沿って、期を通じて対円で上昇しました。

---

## ▶ ポートフォリオについて（2021年12月7日から2022年6月6日まで）

---

### 株式組入比率

株式組入比率（投資信託証券を含む）は、期を通じて高位を維持しました。

### 業種配分

株価の上昇によりエネルギーのウエイトが上昇しました。一方で、銀行のウエイトを引き下げました。

### 個別銘柄

個別銘柄では、経済活動に伴う国内消費需要拡大の恩恵が期待できることから、主に食品やハードウェア製品の流通およびマーケティングを手掛けるメトキャッシュを購入しました。

一方で、金利上昇に伴う住宅市場および住宅ローン市場の減速見通しから、ウエストパック銀行やオーストラリア・コモンウェルス銀行などの銀行銘柄を売却しました。株価の上昇により上値余地が縮小した鉱山のBHPグループを売却しました。

▶ **ベンチマークとの差異について (2021年12月7日から2022年6月6日まで)**

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

**2 今後の運用方針**

米国のインフレと金利の見通し、ロシアによるウクライナ侵攻の余波、中国経済の下振れ懸念などを背景に、株式市場は引き続き値動きの荒い展開が続くと予想します。もっとも、中国経済については、政府の景気対策強化を考えると、今後は徐々に持ち直す可能性が高いとみています。また、新型コロナの感染が鎮静化し、オーストラリア国内経済、主要な内需関連企業の業績は拡大基調を維持する見通しです。株式市場も企業業績の成長に沿った上昇を見込みます。

オーストラリア株式市場は堅調な見通しであることから、株式の組入比率は高位を維持します。個別銘柄選択については、安定した事業からのキャッシュフローを見極めるとともに、増配や自社株買いなどの株主還元に注力する銘柄を選別します。

■ **1万口当たりの費用明細 (2021年12月7日から2022年6月6日まで)**

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	26円 (21) (5)	0.082% (0.065) (0.017)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	8 (7) (0)	0.024 (0.024) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	33	0.106	

期中の平均基準価額は31,581円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。  
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。  
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年12月7日から2022年6月6日まで)

#### (1) 株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	オーストラリア	百株 1,700 (75.89)	千オーストラリア・ドル 1,149 ( - )	百株 4,910	千オーストラリア・ドル 7,270

※金額は受渡し代金。

#### (2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外 国	オーストラリア	SCENTRE GROUP	口	千オーストラリア・ドル	口	千オーストラリア・ドル
		GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	-	-	61,000	185
		NATIONAL STORAGE REIT	-	-	28,000	114
		CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	-	-	40,000	101
		RURAL FUNDS GROUP	-	-	60,000	232
		CHARTER HALL LONG WALE REIT	-	-	260,000	733
		HOMECO DAILY NEEDS REIT	-	-	24,000	121
		DEXUS/AU	-	-	81,000	114
		APA GROUP	-	-	12,000	127
		CHARTER HALL RETAIL REIT	-	-	34,000	338
STOCKLAND	-	-	20,000	82		
				30,000	124	

※金額は受渡し代金。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

### ■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年12月7日から2022年6月6日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	706,638千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,743,809千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.40

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### ■ 利害関係人との取引状況等 (2021年12月7日から2022年6月6日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年12月7日から2022年6月6日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2022年6月6日現在)

#### (1) 外国株式

銘柄	株数	期首(前期末)	期 末		業 種 等		
			株 数	株 数		評 価 額	
						外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	百株	百株	千オーストラリア・ドル	千円			
BHP GROUP LTD	600	420	1,963	185,119	素材		
ALUMINA LTD	7,000	5,580	937	88,363	素材		
WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	500	465.89	1,481	139,649	エネルギー		
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	634.4	504.4	1,577	148,719	銀行		
WESTPAC BANKING CORP	900	400	960	90,489	銀行		
AUST AND NZ BANKING GROUP	1,000	800	2,001	188,670	銀行		
RIO TINTO LTD	90	70	812	76,558	素材		
AMCOR PLC-CDI	900	720	1,326	125,011	素材		
METCASH LTD	-	1,200	506	47,733	食品・生活必需品小売り		
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	230	100	1,052	99,161	銀行		
TELSTRA CORP LTD	5,000	3,990	1,564	147,430	電気通信サービス		
MACQUARIE GROUP LTD	50	40	736	69,390	各種金融		
SUNCORP GROUP LTD	2,239.1	1,789.1	1,984	187,022	保険		
JB HI-FI LTD	340	270	1,250	117,834	小売		
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	19,483.5 13銘柄	16,349.39 14銘柄	18,153 -	1,711,154 <67.3%>		
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	19,483.5 13銘柄	16,349.39 14銘柄	- -	1,711,154 <67.3%>		

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

## オーストラリア高配当株式マザーファンド

### (2) 外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		組 入 比 率
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(オーストラリア)	口	口	千オーストラリア・ドル	千円	%
SCENTRE GROUP	300,000	239,000	673	63,529	2.5
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	137,418	109,418	425	40,120	1.6
NATIONAL STORAGE REIT	200,000	160,000	385	36,346	1.4
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	300,000	240,000	871	82,119	3.2
RURAL FUNDS GROUP	806,665	546,665	1,656	156,131	6.1
CHARTER HALL LONG WALE REIT	120,000	96,000	471	44,430	1.7
HOMEKO DAILY NEEDS REIT	400,000	319,000	422	39,841	1.6
DEXUS/AU	60,000	48,000	502	47,371	1.9
APA GROUP	170,000	136,000	1,540	145,243	5.7
CHARTER HALL RETAIL REIT	100,000	80,000	340	32,048	1.3
STOCKLAND	150,000	120,000	472	44,566	1.8
小 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	2,744,083 11銘柄	2,094,083 11銘柄	7,763 <28.8%>	28.8
合 計	口 数 ・ 金 額 銘 柄 数 <比 率>	2,744,083 11銘柄	2,094,083 11銘柄	— <28.8%>	28.8

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

### ■ 投資信託財産の構成

(2022年6月6日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	千円	%
投 資 証 券	1,711,154	67.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	731,748	28.8
投 資 信 託 財 産 総 額	101,564	4.0
	2,544,466	100.0

※期末における外貨建資産（2,485,701千円）の投資信託財産総額（2,544,466千円）に対する比率は97.7%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=94.26円です。

# オーストラリア高配当株式マザーファンド

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年6月6日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	2,544,466,679円
コール・ローン等 株 式(評価額)	87,568,332
投 資 証 券(評価額)	1,711,154,123
未 収 配 当 金	731,748,484
(B) 負 債	1,150,745
未 払 解 約 金	13,995,740
そ の 他 未 払 費 用	1,149,593
1,152	
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	2,543,315,934
元 本	729,595,413
次 期 繰 越 損 益 金	1,813,720,521
(D) 受 益 権 総 口 数	729,595,413口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	34,859円

※当期における期首元本額1,006,208,888円、期中追加設定元本額30,806,767円、期中一部解約元本額307,420,242円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

オーストラリア・高配当株ファンド(毎月決算型)	708,575,867円
オーストラリア・高配当株ファンド(年1回決算型)	21,019,546円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。

## ■ 損益の状況

(自2021年12月7日 至2022年6月6日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	76,846,997円
受 取 配 当 金	76,859,939
受 取 利 息	527
支 払 利 息	△ 13,469
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	569,272,095
売 買 益	634,977,300
売 買 損	△ 65,705,205
(C) そ の 他 費 用 等	△ 626,449
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	645,492,643
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,729,071,237
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 627,948,944
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	67,105,585
(H) 合 計(D + E + F + G)	1,813,720,521
次 期 繰 越 損 益 金(H)	1,813,720,521

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。